

新型コロナウイルス（2019-nCoV）と全身麻酔装置の取扱いについて

2020年3月1日
ドレーゲルジャパン株式会社
メディカル事業部
マーケティング部

関係者各位

以下の情報及び推奨事項は、新型コロナウイルス（2019-nCoV）に感染、または感染が強く疑われる患者に使用されたドレーゲルの全身麻酔装置を対象としています。

背景：

コロナウイルスはエンベロープウイルスに属するウイルスの1つの大きなファミリーで、一般的な風邪から、より深刻な中東呼吸器症候群（MERS-CoV）や重症急性呼吸器症候群（SARS-CoV）を引き起こすウイルスです。新型コロナウイルス（2019-nCoV）はこれまで人への感染が報告されていなかった新株です。

コロナウイルスは動物とヒトの間で感染します（人畜共通性感染）。新型コロナウイルス（2019-nCoV）においては、特にヒトからヒトへの感染の可能性が確認されていますが、その程度はまだ明らかになっていません（2020年2月19日時点でのWHOの見解）。

新型コロナウイルス（2019-nCoV）はエンベロープウイルスに属し、原則的には、限定殺ウイルス効果のある消毒剤で除去することができます。

より安全性を高めるために、地元の医療機関で消毒剤として登録されている非エンベロープウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、ポリオウイルスなど）用の消毒剤も使用可能です。

より詳しい情報は、以下のウェブサイトをご確認ください。

- <https://www.who.int/csr/don/en/>
- <https://www.cdc.gov/outbreaks/index.html>
- <https://www.ecdc.europa.eu/en/novel-coronavirus-china>

- 厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 日本麻酔科学会
<https://anesth.or.jp/>

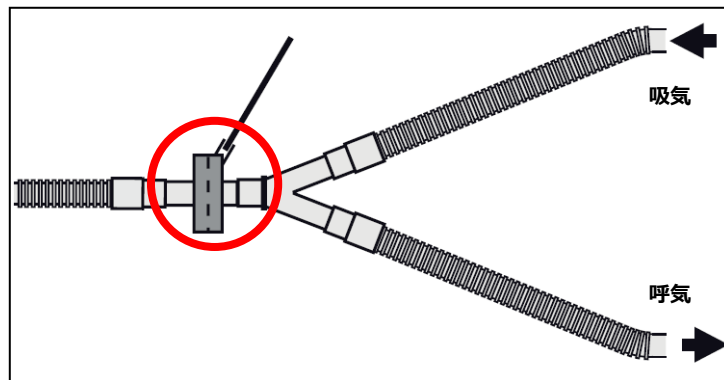
新型コロナウイルス（2019-nCoV）に感染、または感染が強く疑われる患者に対するシステムセットアップの推奨事項：

A. 必須項目

A1. 全身麻酔装置：

- 挿管チューブと Y ピースの間に HEPA タイプの機械式フィルター（BSF）を使用すること
（TwinStar HEPA MP01801 成人用）

注意：ガスサンプリングラインを取り付ける際は麻酔器の汚染を回避するために BSF の麻酔器側に接続する必要があります（以下図）



- Disposable の呼吸回路のみを使用します。型式と番号はドレーゲルアクセサリカタログをご参照ください

A2. モニター付属品：

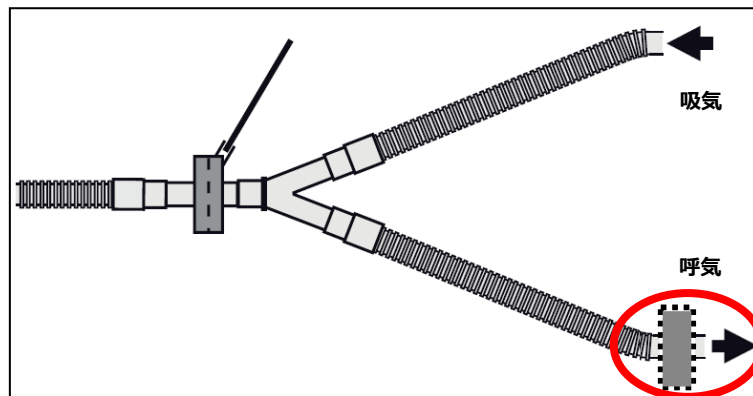
モニター付属品は Disposable の物を使用し、必ず患者ごとに廃棄すること

- Disposable ECG リード
- Disposable SpO2 センサー
- Disposable NIBP カフ
- Disposable 温度プローブ

型式と番号はドレーゲルアクセサリカタログをご参照ください

B. より安全性を高めるために、強く推奨される追加の項目

麻酔器の汚染リスクを避けるため、呼吸システムの呼気ポートに**追加の機械式システムフィルター（BSF）**を取り付ける事を強くお勧めします（以下図）



- SafeStar55 MP01790 をお勧めします。詳細はドレーゲルアクセサリカタログをご参照ください

重要：

- 上記のセットアップで使用した際は、抵抗は規格（ISO 80601-2-13:2011）で要求される値を超える可能性があります。換気に関連するパラメータを常に監視することが必須です
- 上記のように使用されるすべてのフィルターは機械式で HEPA 品質である必要があります（例：SafeStar55 MP01790）、毎日および患者ごとに交換する必要があります
- 詳細はドレーゲルアクセサリカタログをご参照ください

滅菌処理の推奨事項：

汚染の可能性がある製品、コンポーネント、および機器表面の消毒処理は、取扱説明書に記載されている標準手順と、少なくとも限定殺ウイルス効果を持つ適切な消毒剤の使用により実施可能です。

新型コロナウイルス（2019-nCoV）に汚染された麻酔器に関する以下の推奨事項は、感染症の一般的なガイドラインと実践に基づいています。詳細につきましては、全身麻酔装置の最新の取扱説明書に記載の「表面消毒剤のリスト」をご参照いただくか、お近くの販売会社にお問い合わせください。

これまでのところ、感染リスクが明らかになっておらず、また、滅菌処理対策の効果に関する決定的なデータがないため、当面の間追加の予防策として以下の手順で対策を強化することをお勧めします。

C. 基本的対策

- C1. 病院および地方/国の保健当局が定める労働安全および滅菌処理ガイドラインに従ってください
- C2. 患者の呼気ガスと接触するすべての使い捨ての装置部品を取り外し、安全に廃棄する（以下例）：
 - 呼吸回路
 - 人工鼻付きフィルター（HMEF）/呼吸システムフィルター（BSF）
 - ディスポーザブル換気バッグ
 - 二酸化炭素吸収材
 - ガスサンプリングラインとウォータートラップ
 - モニター付属品
- C3. 呼吸システム（弁やフローセンサーを含む）の再処理については取扱説明書の内容に従ってください
- C4. 適切な消毒剤を使用して、麻酔器やその他の機器、および再使用可能なコンポーネントの接触可能な表面全てを完全に洗浄・消毒する（消毒剤の濃度と暴露時間に関してはメーカーの指示に従ってください）
- C5. 空気乾燥させる

D. （上記 C に続く）追加の対策 呼吸システムフィルター（BSF）無しで麻酔器が使用された場合

このパートは患者に使用される全ての医療機器を対象とし、一般的な院内のガイドラインに従っている必要があります。前提条件として、上記 C の基本的対策が実施されているものとします

- D6. 麻酔器やその他の機器、および再使用可能なコンポーネントをビニールのカバーで完全に包み、室温以上で指定された期間、安全に保管します。バッテリーが完全に放電しないように、メインスイッチを使って全てのスイッチを OFF にしてください
- D7. ビニールのカバーを安全に廃棄します

- D8. 適切な消毒剤を使用して、麻酔器やその他の機器、および再使用可能なコンポーネントの接触可能な表面全てを完全に洗浄・消毒する（消毒剤の濃度と暴露時間に関してはメーカーの指示に従ってください）
- D9. 空気乾燥させる
- D10. 再使用可能です

一般的注意事項：

感染対策と疫学を担当する病院の管理者の方は、個々の状況に基づいて必要な対策を決定してください。上記の対策は、推奨される方法で使用されている機器を対象としています。呼吸システムフィルター（BSF）無しで使用される機器に関しては、管轄当局と相談して個々のケースごとに管理する必要があります。疑わしい場合には、汚染された機器と再利用可能な付属品を安全な形で廃棄することをお勧めします。

ご不明な点がありましたら、遠慮なくお近くのドレーゲルオフィスにお問い合わせください。

敬具